

	一般的名称	報告の概要
470	リバビリン	Recanati-Miller Transplantation Institute databaseを用いた病歴の再検討により、肝移植後のペグインターフェロン アルファ-2a及びリバビリンの投与により、慢性胆管消失性拒絶反応の発現率が高くなることが示唆された。
471	ピロキシカム	NSAIDsの重篤な皮膚障害発現リスクを検討した結果、ピロキシカムではリスクが高いことが示唆された。
472	塩酸ミトキサントロン	再発・難治性急性骨髄性白血病患者62例を対象とし、Flavopiridol+シタラビン+ミトキサントロンのPhase II 試験において、多臓器不全により2例が、真菌感染により1例が死亡した。
473	ホリナートカルシウム	ステージT3N1の食道癌患者33例を対象とした術前化学療法+術後化学療法+手術のPhase II 試験において、手術前に1例が血管イベントにより死亡した。
474	ジクロフェナクナトリウム	薬剤性の急性肝内胆汁うっ血の患者26例の生化学データを調べたところ、原因薬剤としてジクロフェナクが挙げられた。
475	ケトプロフェン	非ステロイド性抗炎症剤 (NSAIDs)と血液凝固防止剤又は抗血小板の併用により、NSAIDs単独投与時より消化管出血リスクが高まることが示唆された。
476	プレドニゾロン	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)の患者に吸入副腎皮質ステロイド (ICS)を投与したところ、肺炎による入院率及びその後30日以内の死亡リスクが高まることが示唆された。
477	ロスバスタチンカルシウム	慢性心不全患者患者に対するスタチン追加療法を検討したCORONA試験の結果、心不全に対する至適治療がなされている患者にロスバスタチンを追加投与した際の死因はアテローム性動脈硬化性イベントでなく、心臓状態の悪化に伴うことが示唆された。
478	タダラフィル	18人の男性不妊症患者にタダラフィルを投与したところ、総精子運動率が減少することが示唆された。
479	インターフェロン ベータ-1a (遺伝子組換え)	インターフェロンベータで治療を受けている多発性硬化症患者97例を対象として、中和抗体価を測定したところ、中和抗体価の増加に伴い、インターフェロン ベータの生物活性が段階的に喪失することが示唆された。
480	プラバスタチンナトリウム	3年を超える期間で収集した58名の間質性肺炎の患者中、プラバスタチン・シンバスタチンの服用例が7例あった。
481	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	子宮頸部腺癌と診断された150名の女性においてケースコントロールスタディを行ったところ、経口避妊薬を12年以上使用している患者で子宮頸癌発症リスクが高まることが示唆された。
482	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	20-44歳も浸潤性子宮頸癌と診断された白人女性においてケースコントロールスタディを行ったところ、経口避妊薬を使用すると扁平上皮癌、腺癌発症示唆された。
483	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	経口避妊薬 (OC)と癌の関連についてコホート研究を行ったところ、OCを97ヶ月以上使用している患者において子宮頸癌発症リスクが高まることが示唆された。
484	リツキシマブ (遺伝子組換え)	一医療機関において、成人悪性リンパ腫150例を対象としたレトロスペクティブ研究において、リツキシマブ非併用群と比較して、リツキシマブ併用群で有意に遅発性好中球減少症の発現頻度が高かった。
485	リツキシマブ (遺伝子組換え)	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫患者43例を対象としたレトロスペクティブ研究において、リツキシマブ非併用群と比較して、リツキシマブ併用群で有意にlate-onset neutropeniaが多く見られた。